

学習資料

機械の整備を行うときの注意点

分 解	<ul style="list-style-type: none">・分解は順序よく行う。分解した部品は整理箱に並べる。・部品の汚れを取り、さびはワイヤブラシで落とす。・さびついたねじは、油を差しておき、軽くたたいてから緩める。
洗 浄	<ul style="list-style-type: none">・分解した部品は、汚れの少ない物から洗う。(油で洗浄)・小さい部品は布に包んで洗う。・ボルト、座金、ナットは洗浄後に組み合わせておく。・部品はよく点検して、不良品があれば交換する。
組 立	<ul style="list-style-type: none">・分解と逆の手順で行う。・部品にゴミや鉄粉などがつかないように注意する。・回転部分や部品が擦れ合う部分には、機械油やグリースを注油する。

安全に作業するための注意点

作業場所	<ul style="list-style-type: none">・明るく作業がしやすい場所を選ぶ。・機械(機器)を安定させる。
服 装	<ul style="list-style-type: none">・作業に適した服装できちんと身支度する。・腕や足を露出しない。・必要に応じて、帽子や保護めがねを着用する。
整 頓	<ul style="list-style-type: none">・作業の目的や部品の大きさに合った物を選び、正しく使う。
その他	<ul style="list-style-type: none">・電源プラグを抜き、機械が動かないようにする。

自転車について、日常どのようなところを点検・調整したらよいか

点検箇所	点 検	調 整
①ハンドル	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームに対して直角か。 ・緩みはないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き上げ棒のねじを緩めて調整。 ・ねじを締める。
②チェーン	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンのたるみがないか。 中央部を上下させ 20mm なら正常 	<ul style="list-style-type: none"> ・たるみ具合を調べながら、チェーン引きナットで調整する。
③サドル	<ul style="list-style-type: none"> ・高さは、両足のつま先が地面に届くか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調整ねじを緩め、高さを調整する。
④前後 ブレーキ	<ul style="list-style-type: none"> ・確実にはたらくか。 ・ブレーキパッドは消耗していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前ブレーキは、調節ねじを緩めて、ワイヤの長さを調整する。 ・後ろブレーキは、種類によって調整方法が異なる。 ・ブレーキパッドを交換する。
⑤タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・空気圧は適当か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が乗った状態で、地面との接地面の長さは 10cm くらい。 ・前車輪の方を少し少なくする。
⑥ライト	<ul style="list-style-type: none"> ・照らせる距離は適切か。 (照射角度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・10m くらい先を照らすよう、角度や向きを調整する。
⑦注 油 清 掃	<ul style="list-style-type: none"> ・油ぎれや汚れはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球軸受には、グリース。 ・チェーン、変速機、ブレーキレバーにはマシン油。 ・大量に注油しすぎない。余分な油は布で拭き取る・